

### ポイント 1

### 配当による株主還元を重視

- オーストラリア企業は株主還元を重視し、相対的に配当利回りが高く、配当性向も魅力的な水準にあります。

### オーストラリア・米国・日本の株式市場の比較

	オーストラリア 	米国 	日本 
配当利回り	3.8%	1.4%	2.3%
配当性向	68.7%	33.8%	37.2%

(出所) ブルームバーグ、ファクトセット

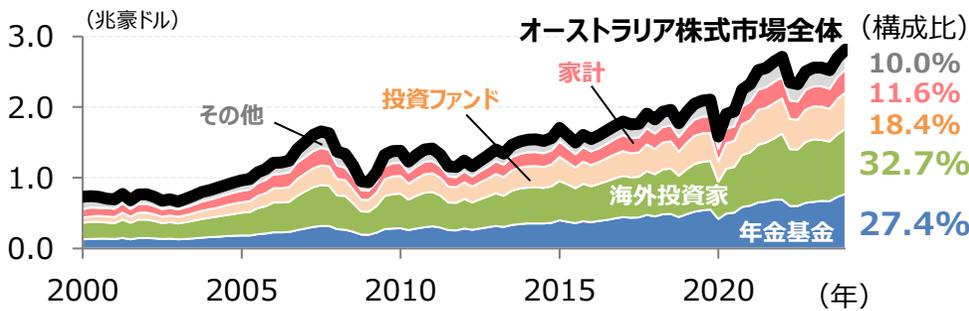
※配当利回りは予想配当利回り、2024年6月末時点。配当性向は過去5年（2019年～2023年の平均値）。オーストラリア株はS&P/ASX200指数、米国株はS&P500指数、日本株は東証株価指数（TOPIX）。

### ポイント 2

### 株式市場を支える海外投資家と年金基金による持続的な資金流入

- オーストラリアの株式市場は、数々の危機を乗り越えて長期で成長を遂げています。保有者の内訳を見ると、海外投資家のシェアが最も大きく、グローバルで注目を集めている市場であることがわかります。

### オーストラリア株式の主体者別の保有残高の推移



(出所) 豪州政府統計局

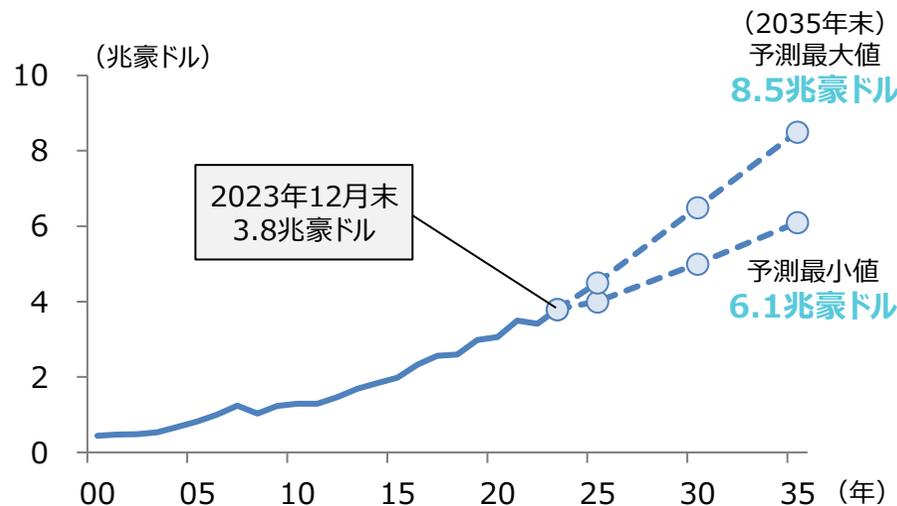
(期間) 2000年1Q～2024年1Q ※四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

### TOPIC

### 株式市場を支える強固な年金制度

- オーストラリアでは会社が給与額の一定割合を拠出する「スーパー・アニュエーション（年金基金）」という年金制度が存在します。
- スーパー・アニュエーションからの安定した資金流入が、市場の長期的な成長を支える重要な要因となっています。
- 業界予測によれば、スーパー・アニュエーションの総資産は2023年12月末の3.8兆豪ドルから2035年には最大で8.5兆豪ドルに拡大が見込まれており、中長期的に年金資金の流入がオーストラリア株の安定的な下支え役となることが期待されます。

### 拡大するスーパー・アニュエーションの総資産



(出所) 豪州政府統計局、豪州スーパー・アニュエーション基金協会

(期間) 2000年～2023年

※予測は豪州スーパー・アニュエーション基金協会が集計する業界予測（2024年6月末時点）

●当資料は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、当社が信頼性が高いと判断した各種データ等に基づいて作成したものです。その完全性、正確性を保証するものではありません。●当資料に記載されたグラフやデータ等は、過去の実績または予測であり、将来の市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他一切の権利は、その発行者に帰属します。●当資料は当社の許可なく複製・転用することはできません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）加入金融商品取引業協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

